

校長室より

「天空高き」



第137号



令和2年9月1日

2学期がスタート！ー深く、面白く、真面目に、愉快地ー

例年より早く、8月24日から2学期が始まりました。

残暑の厳しい時期ですが、気持ちを入れ替え、特に3年生の皆さんは、進学や就職に向けて、大事な学期です。就職試験や大学受験までに、やるべきこと、やらないといけないことを明確にし、しっかりとした計画を立て、一日一日を、前向きに全力で取り組んでください。

学力＝集中力×時間です。この方程式をしっかりと活用してください。

9月には、楽学祭が開催されます。テーマは「revolution～大改革」です。

このコロナ禍の中で、3密を避けながら、楽学祭を成功させるためには、皆さん一人ひとりが、見方や考え方を全く変えて、取り組む必要があります。答えはありません。生徒の皆さん一人ひとりが、納得できる答えを出すことが、今回のテーマに対する答えになるのではないのでしょうか。皆さんの瑞々しい感性、柔軟な思考力があれば、新しい、素晴らしい楽学祭を創り上げることができると、期待しています。

災難は忘れる前にやってきます。

残念ながら、毎年、多くの尊い命が奪われたたくさんの方々が大変な被害に遭われています。今年7月には、九州地方で豪雨災害がありました。

台風や局部的豪雨、地震などの自然災害や事故・事件は、誰もが遭う可能性があります。残念ながら、日本列島で安全な場所は存在しません。ですから、「想像力を働かせて、危険を察知してください」

自然災害（台風・集中豪雨）に対しては、まず、家族との連絡方法を確認してください。そして、毎日の天気予報のチェックが大事です。



山口県産花き（フラワーアレンジメント）展示

期間：8月24日～9月11日

体験は教えることができない。やってみないとわからない。

事故・事件に巻き込まれないためには、交通ルールなどの決まりを守るとともに、知らない所に近づかない、夜間外出はしない、また、仮に巻き込まれても、落ち着いて、全力で自分の命を守ってください。

大切なことは、普段の当たり前前を当たり前前です。それは、今のコロナ禍の状況下においても同様です。

コロナウイルスの感染が拡大傾向にあります、皆さん一人ひとりの高い意識と責任ある行動で、充実した2学期にしましょう。

「安心して感染したい」^{みつけ}—新潟県見附市—

右の5コマ漫画に付された題が、「安心して感染したい」。

新潟県見附市の公式 facebook に掲載されました。

見附市は、新潟市から車や電車で1時間ほどの中越地方にあります。感染者はこれまでのところゼロでしたが、8月に入って初めて陽性者が確認されました。

『 見附市役所 7月14日
目騒なタイトルですが…。』

丁寧に補強説明すると《もし新型コロナウイルスに感染しても、安心して治療に専念できる見附であって欲しい》ということなんです。

マンガの前半4コマに出てくるセリフ。自分から口にすることはないけれど気持ちはずごく分かります。



仮に見附市で最初の感染者になっても、市民が口を揃えて「一日でも早く完治するといいね!」と心強い励ましを送ってくれるのであれば、安心出来ますよね。

僕が新型コロナウイルスに感染したら、可能な限り自分に起きていることを発信するつもりです。無知から生じる誤解や、ねじ曲がった噂が広まり、自分の家族や友人までを傷つけるような事態だけは避けたいからです。

明日、自分が感染していないと自信を持って言える人は一人もいないからこそ互いを

想い合う空気をまずは自分から創って行きたいと思います。』

見附市公式レポーター 村上 徹 (Tooru Murakami)

いま大切なことは、陽性者が出たあとの対応です。老いも若きも、誰もが安心して感染できる社会でありたいと切に願っています。私たちが闘う相手は新型コロナウイルスだけです。

むずかしいことをやさしく やさしいことをふかく…

作家、『井上ひさし』さんの言葉です。

「むずかしいことをやさしく」、幼児に何かを説明したり、教えたりしようとするとき、皆さんは言葉を選ぶと思います。

幼稚園児や保育園児たちは好奇心が旺盛です。よく、大人たちに「これは何?」「これはなぜ?」と聞きます。その時、単純で明快な言葉で、子どもたちを理解させることができれば、子どもたちの好奇心さらに

高まり、外の世界どんどん広まっていきます。子どもたちが、最初にわからないこと（むずかしいこと）に出会った時、いかにわかりやすい言葉で説明できるかが、子どもたちの学びの場に最も必要とされていることではないでしょうか。だから、最初に難しいことに出会った時には、やさしく説いてくれる支え手が大切です。

むずかしいことをやさしく
やさしいことをふかく
ふかいことをおもしろく
おもしろいことをまじめに
まじめなことをゆかいに
ゆかいなことはあくまでもゆかいに
あくまでもゆかいに

私たちが子どもの支え手になるための答えが、この言葉の中にあると思います。

まず、「むずかしいことをやさしく」は、日常から、私たちはできるだけ、単純で明快な言葉・表現を使う習慣を身に付けて置くことが肝心です。

「やさしいことをふかく」は、私たちに物事の本質をしっかりと見抜く力が必要です。日頃から、知識や経験を積み重ねながら、多様な見方や考え方を身に付けて置く必要があります。

「ふかいことをおもしろく」、というのは、私たちが、学ぶことが楽しくなるということでしょうか。本校の「楽学」の精神に通じますね。

「おもしろいことはまじめに」は、私たちが面白いことを真剣に本気になってやりなさいということでしょうか。

「まじめなことはゆかいに」は、真面目なことを楽しんでやりなさいということでしょうか。

そして、「ゆかいなことはあくまでもゆかいに」は、愉快的ことはトコトン楽しんでやりなさい、ということでしょうか。

私たち大人もまず、「むずかしことをやさしく」から入ることからはじめる必要がありますね。

9月の月間目標

1%を誰かのために

一人じゃ生きられない

令和2年度
チャレンジ目標

- 1 5分前考動
- 2 整理整頓
- 3 先に元気な挨拶
- 4 1%を誰かのために

9月は台風シーズンです。毎年、この台風が日本各地で甚大な被害をもたらします。

もし、皆さんが住んでいる地域で災害が発生したときには、皆さんの時間と労働力を地域のために無償で提供してください。

もし、皆さんの友達や知っている方々が困っていれば、皆さんができることを申し出てください。

私たちは一人では生きられません。お互いに助け、助け合うことでこの社会を支えています。

いま、私たち一人ひとりができることを、誰かのために尽くすことで、人と人とのつながりができます。そのつながりの中で私たちは生活しています。

1%を誰かのために。

二十四節気

白露（はくろ）9月7日

白露は野の草に露が宿って白く見え、秋の趣が感じられる頃という意味です。9月上旬の白露（はくろ）を過ぎると日中は残暑で真夏のような暑さでも、夜が長くなるにつれて朝晩は次第に涼しくなります。秋に露が多く見られるのは、気温の日較差（1日の中の最高気温と最低気温の差）が大きく、日中の湿った空気が夜間に冷やされることによって夜露や朝露が発生しやすいためです。

秋分（しゅうぶん）9月22日

秋分の日は春分の日（3月21日頃）と同様に昼と夜の長さが同じですが、気温は秋分と春分では大きく異なります。東京の秋分の日の平均気温は22℃、春分の日の平均気温は9～10℃で約12℃も差があります。これは、太陽の日の照らし方だけで気温が決まるのであれば同じになるのですが、地球上の空気が温まったり冷えたりするのに時間がかかることによります。そのため、冬から迎える春分の日より、夏から迎える秋分の日の方が気温が高くなります。8月中旬頃からの暑さの事を『残暑が厳しい』と言いますが、主に立秋（8月7日頃）から秋分（9月23日頃）までの間に気温が「高い」ことを言います。

『暑さ寒さも彼岸まで』と言われていますが、秋分の日が彼岸入り、3日後が彼岸明け、秋分の日を中日として前後3日間が秋のお彼岸となり、秋分の日ころから暑さも収まっていきます。

「お天気.com」